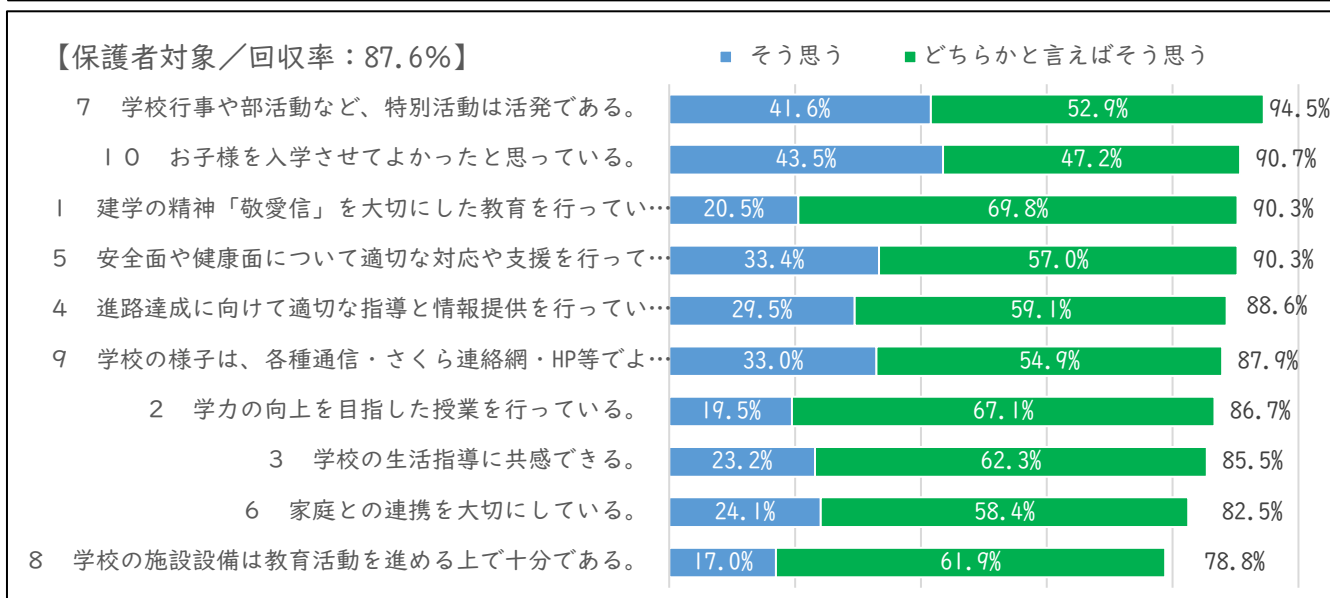
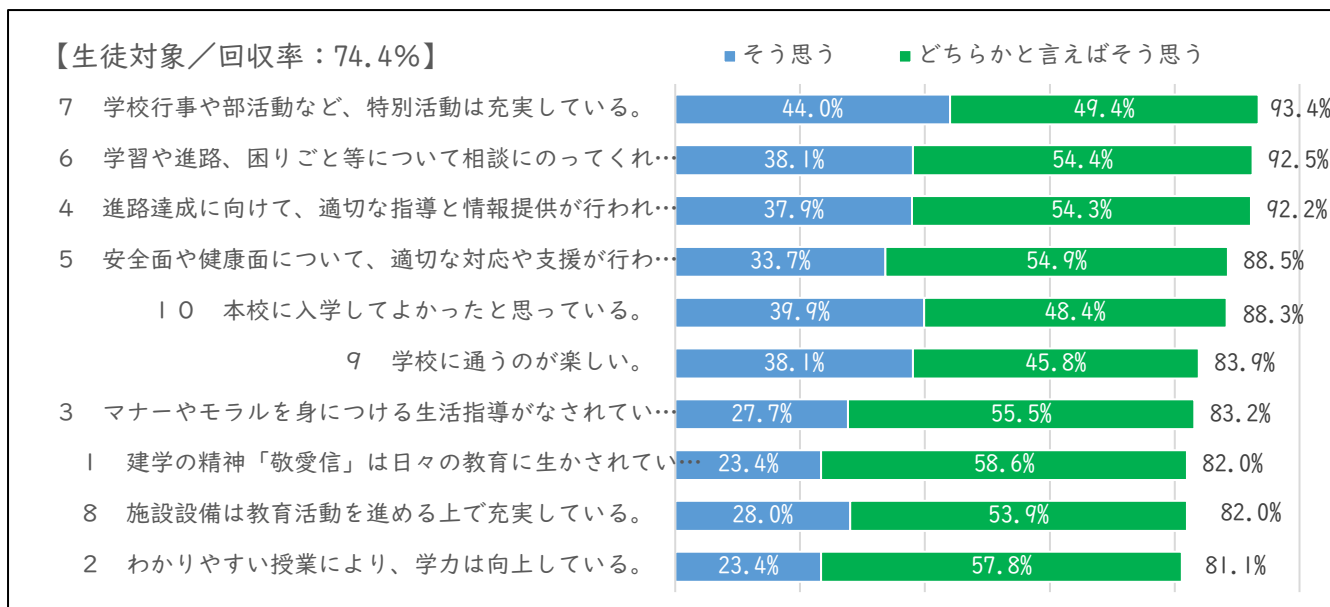


令和7年度学校評価アンケートのまとめ（令和8年2月実施）



【概要】

- ① 「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の合計で90%を超えたのは生徒が3項目、保護者が4項目。80%を超えたのは生徒が全項目、保護者8項目と昨年と同じ傾向だが、評価ポイントは全体的に低下した。
- ② 生徒で最も評価が高かったのは「学校行事や部活動など、特別活動は充実(93.4%)」で、最も低かったのは「分かりやすい授業(81.1%)」である。「学校に通うのが楽しい」が昨年よりも2.5ppほど改善した。
- ③ 保護者で最も評価が高かったのは「学校行事や部活動など特別活動が活発(94.5%)」、最も低かったのは「学校の施設設備(78.8%)」である。「施設設備」については昨年よりも2.3ppほど改善し、特進科棟のトイレ改修が評価されたのかもしれない。
- ④ 生徒の評価で向上しているものは「学校行事や部活動など、特別活動は充実」で3、4年前に比較し6～7ポイント上昇している。逆に低下しているものは「施設設備」である。
- ⑤ 保護者の「家庭との連携(82.5%)」は決して高い評価とは言えず、コロナによる制限が解除され学校生活が通常に戻っている中、保護者は緊密な連携を求めている。
- ⑥ 自由記述の「良い点」として、生徒は「ICTの活用」「個性豊かな生徒たちや生徒思いの先生方が多い」、保護者からは「子供と先生の距離が近くサポートが手厚い」「厳しくもなく緩くもなく居心地良さそう」「時代の変化に合わせて柔軟に対応している」などの声が寄せられた。「模試報告会の実施や進路説明会など、進路に関する情報提供が定期的に行われている」といった評価の声も多かった。
- ⑦ 自由記述の「改善すべき点」として、生徒からは「校則が厳しすぎる」という意見がある一方、「校則をしっかり守らせるべき」という声も多い。保護者からは、「弁当がいるのかどうか知らせてほしい」「電車遅延の連絡がもっと早く欲しい」といった個人の要望が目立つ。毎年多くの意見が寄せられる部活動については、今年はそれほどではなかった。

※ 本アンケートの結果については、自由記述のご意見も含め教職員で共有するとともに、富澤学園評議員会等で外部の意見を求めながら、今後も生徒・保護者を第一にした学校運営に努めてまいります。